

【小中連携によるハードル走の授業】



去る10月2日(月)の3・4校時に田布施中学校の吉本教諭と鴨崎教諭をお迎えして5・6年生を対象としたハードル走の授業を行いました。ハードルの基本的な跳び越し方に始まり、ふり上げ足や抜き足のやり方についても自ら手本を見せて分かりやすく指導してくださいました。子どもたちが、ハードルを跳び越している際も、細かなアドバイスを送ってくださり、子どもたちはとても楽しく活動することができました。今後も、小中連携を深め、効果的な教育活動ができるように出前授業等を充実させていきたいと思っています。

【人権教育参観日並びに人権教育講演会】



去る10月13日(金)に人権教育参観日並びに人権教育講演会を行いました。その際に、いただいた感想の中から紙面の関係上一部を紹介します。

【人権教育授業参観】

- ・親として子どもを叱ったり注意したりするとき、ただ「ちくちくことば」ばかりになっていないか反省させられました。
- ・先生から、「『親切』はいつもクラスみんながしていることですね。」と言っていただき、一人ひとりをよく見ていただいていることをうれしく思いました。私自身も相手の立場に立って見守ることを行い、子どもに見てもらえるようにしたいと思います。

【人権教育講演会】

- ・自分を大切にすること、他の人のよいところを認めること、お話を聞いて人権について考えさせられました。
- ・得手、不得手が誰にでもあること、人と違うことで生きにくいことがあること。それをお互いに認め合うことが大切ということを講師の実体験を通して分かりやすく教えていただきました。子どもにとってもすごく分かりやすかったと思います。

【藁打ち体験】



去る10月24日(火)の昼休みの時間に、松根宏次公民館長さん、西の寺子屋の三輪道代さん、田原功世さん、國信彰利さんを講師に迎え、藁打ち体験を行いました。まず、最初に松根公民館長さんから、藁打ちの仕方を教えていただき、手順がだいたい理解できたところでグループに分かれて藁を木槌で打ち、柔らかくする作業を行いました。力の加減によって藁がちぎれたり、柔らかくならなかったりすることもあり、その都度講師の先生にアドバイスをいただきながら行いました。しばらくすると、木槌で藁をたたくと藁の束を回す子の息があっってきて、とても上手に藁打ちをすることが出来ました。稲刈りを行った後に束にした藁をこの藁を使って縛り、ハゼ掛けをする際に利用しました。